

HOKOTA Woman Interview誰もが活躍できる共生社会へ

鉢田市では、男女共同参画推進事業の一環として、誰もが自分らしく活躍できる社会の実現を目指し、地域で活躍する女性を「ロールモデル」としてご紹介していきます。「ロールモデル」とは、生き方や働き方の参考になり得る存在のことです。

今回は鉢田市在住でファイナンシャルプランナーとしてご活躍されている片岡真紀さんにお話を伺いました。

**ファイナンシャルプランナーを始めたきっかけは?**

様々な制度を知っているか知らないかで**生活に対する不安は大きく変わる**と考えており、ファイナンシャルプランナーの資格を活かして相談業務を小さくスタートしました。

その後、講師依頼もいただくようになり、現在はライフプランや家計に関する個別の相談業務と講師として活動しています。

仕事や活動を続けていく上で、「これが力になっている」と感じるものがありますか?

家族の応援です。夫も子どもたちも「いいじゃん頑張りなよ~」と、ある種無責任に応援してくれるので、「いやいや大変なんだよ」と思いつつも、やってみるかという気持ちになります。これが案外いい結果を生んだりするので不思議なものです。

仕事と家庭、プライベートのバランスをどのようにとっていますか?

正直に言うと、いまだにバランスが取れているのかわかりません。仕事が詰まってしまうと家の中はすぐグチャグチャだし、イライラもします。なので、**できるだけゆとりを持とう**という気持ちは持ち続けています。

また、プライベートで劇団の活動を行っているので、作り上げる楽しさを**自分のエネルギー**に変えている部分はあると思います。

子どものころは、どんな子どもでしたか?

基本は人見知りで小心者でウジウジしているんですが、自分が納得いかない場合には大人にも食ってかかる頑固者でした。今も大して変わっていないと思います。

これまでで一番のチャレンジは?

初めて講師の営業をしたときでしょうか。公的機関などに電話でアポイントをとってから、自分ができることをまとめて資料にしてお持ちしたのですが、相手の反応がわからなくてとても緊張したことを覚えていました。皆さん優しく対応してくださるのでとてもありがたかったですし、そこから1件1件の依頼が生まれていったので、**初めてのことは怖くてもやってみるものだ**と思いました。

**ファイナンシャルプランナー****片岡 真紀さん(41)**

【職業】ファイナンシャルプランナー・講師

【資格】1級ファイナンシャル・プランニング技能士、AFP

【その他の活動】市民ミュージカル劇団ほこ劇テトテ団長

今後挑戦してみたいことはありますか?

「人生設計」や「ライフプラン」というと大げさに聞こえるかもしれません、それらは日々の家計の延長線上にあります。もっと多くの方が、無理なく先を見通した家計設計ができるよう**サポートしたい**です。その時に「まず相談してみよう」と思ってもらえる、身近な窓口であります。



劇団の練習風景



ライフプラン作成講座

メッセージ /

片岡さんから、新しいことに挑戦しようとする方々へ



私は心配性で、新しいことが苦手です。失敗したらどうしようと考えるのですが、それは裏を返せば「最初から成功しようとしている」ということだと思うと、それは思い上がりだなど笑ってしまいます。

致命傷にならないように準備はしつつ、でも失敗することも織り込んで挑戦していくのが良いのではないかでしょうか。私もまだまだなので、ドキドキしながらこれからも進もうと思っています。

